

1 本市の概況

宇土市は、熊本県のほぼ中央部、熊本平野の南縁で有明海と八代海(不知火海)を二分する宇土半島の基部に位置し、半島のほぼ北半分を占めています。市域は東西 20.4 キロメートル、南北 7.9 キロメートルと東西方向に細長く、総面積は 74.30 平方キロメートルです。北に熊本市、東に旧城南町(平成 22 年 3 月に熊本市と合併)、南に宇城市とそれぞれ隣接しています。

九州を南北に縦貫する国道 3 号線及び、ほぼそれに沿って走る JR 鹿児島本線、宇土半島を東西にのびる国道 57 号線及び JR 三角線の分岐点にあたり、県内における交通の要衝となっています。中心市街地は JR 宇土駅の西南側一帯に広がっており、熊本市中心部から車で南へ約 20 分、九州自動車道橋インターから北西へ約 10 分の距離です。

2 統計からみる本市の現状

(1) 人口・世帯の推移

総人口は、年々減少傾向にあります。反対に世帯数は増加しています。

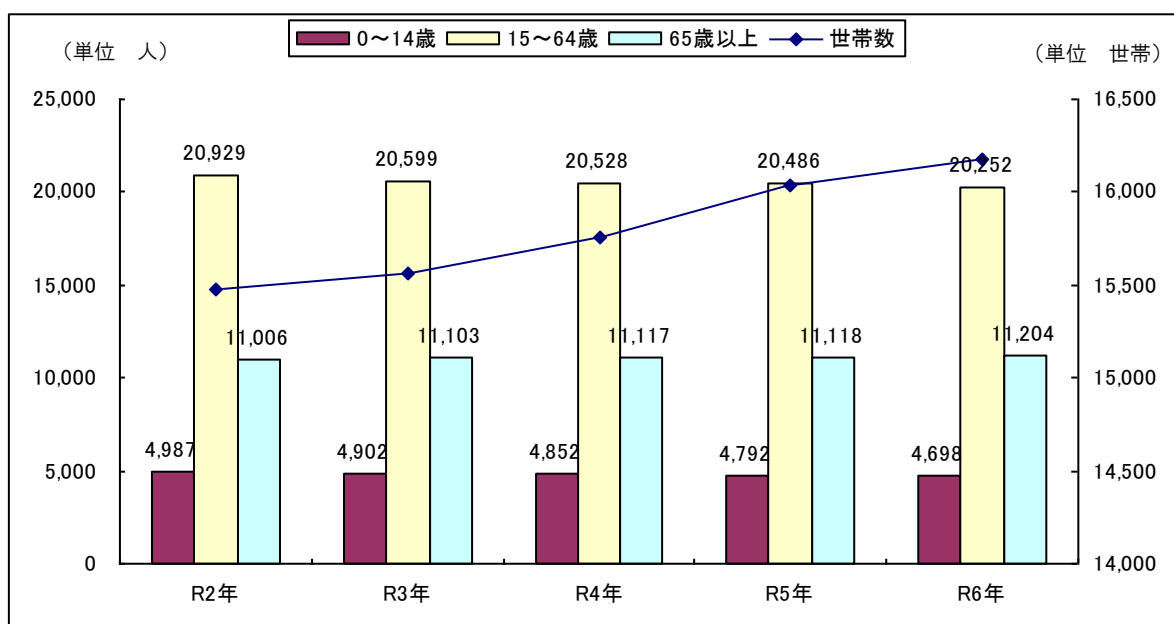
年齢 3 区分人口割合の推移をみると、令和 2 年以降、年少人口及び生産年齢人口の割合は減少、老年人口割合は増加しており、少子高齢化が進んでいます。

表 1：人口・世帯数の推移

(単位：人)

区 分	R2 年		R3 年		R4 年		R5 年		R6 年	
総人口	36,922		36,604		36,497		36,396		36,154	
年少人口 (0～14 歳)	4,987	13.5%	4,902	13.4%	4,852	13.3%	4,792	13.2%	4,698	13.0%
生産年齢人口 (15～64 歳)	20,929	56.7%	20,599	56.3%	20,528	56.3%	20,486	56.3%	20,252	56.0%
老年人口 (65 歳以上)	11,006	29.8%	11,103	30.3%	11,117	30.4%	11,118	30.5%	11,204	31.0%
世帯数	15,480		15,560		15,761		16,041		16,178	

図1：人口・世帯数の推移



【住民基本台帳人口（各年10月末日現在）】

(2) 高齢者人口の推移

65歳以上の高齢者人口は年々増加し、人口に占める割合も増加しています。

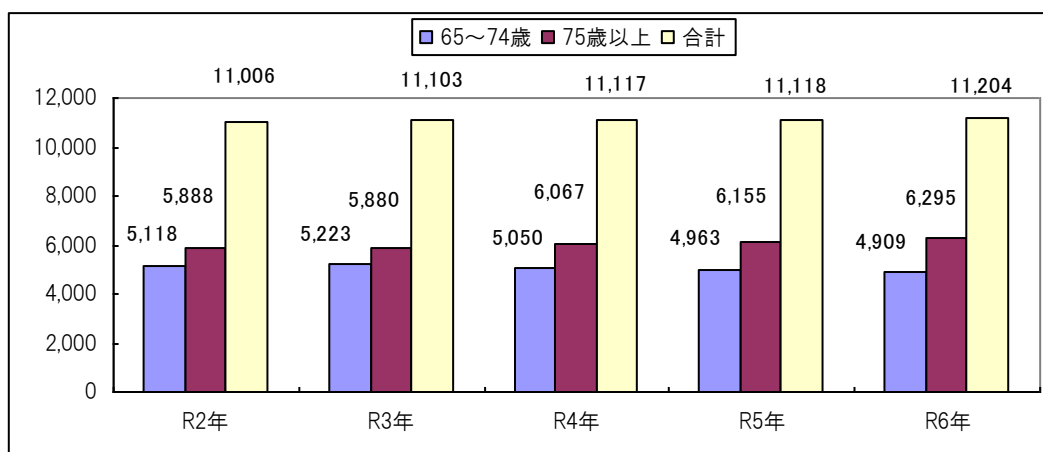
表2：高齢者人口の推移

(単位：人)

区分	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
65～74歳	5,118	5,223	5,050	4,963	4,909
割合(%)	13.9	14.2	13.8	13.6	13.6
75歳以上	5,888	5,880	6,067	6,155	6,295
割合(%)	15.9	16.1	16.6	16.9	17.4
合計	11,006	11,103	11,117	11,118	11,204

図2：高齢者人口の推移

(単位：人)



【住民基本台帳人口要覧より（各年10月末日現在）】

(3) 出生・死亡の状況

平成 20 年からの推移をみると、出生数は減少、死亡数は増加傾向にあります。また、平成 20 年に死亡数が出生数を上回り、出生数が死亡数を下回る自然減の幅が拡大しています。

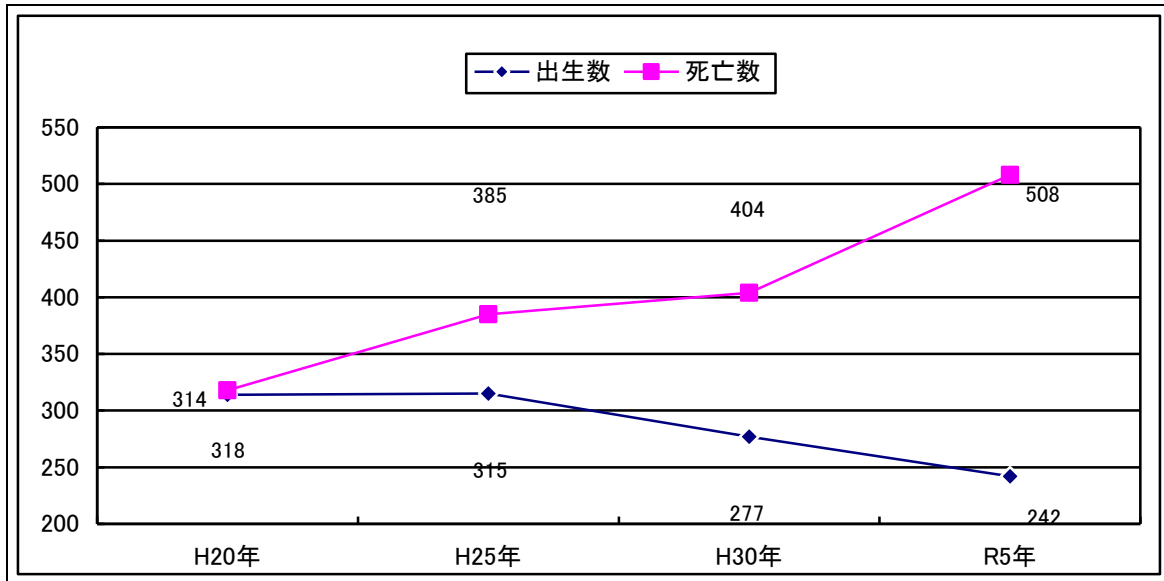
表 3：出生数と死亡数の推移

(単位：人)

区分	H20 年	H25 年	H30 年	R5 年
出生数	314	315	277	242
死亡数	318	385	404	508

図 3：出生数と死亡数の推移

(単位：人)



【住民基本台帳より（各年 10 月現在）】

(4) 死亡原因となっている病気

令和5年度の全死亡数に占める割合をみると、悪性新生物、心疾患、脳疾患で9割以上を占め、生活習慣病に関連した疾患が多くを占めています。中でも脳疾患は、熊本県や国、同規模平均と比べて割合が高くなっています。

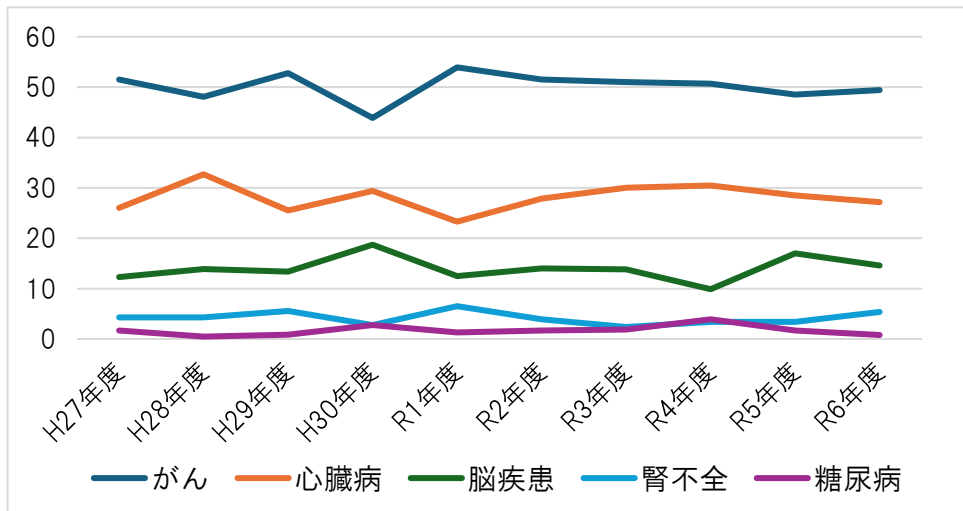
表4：全死亡数に占める割合（令和5年度）

(単位：%)

原因名	宇土市	熊本県	国	同規模平均
悪性新生物（がん）	48.5	48.8	49.9	47.3
心臓病	28.5	30.0	28.1	29.4
脳疾患	17.0	13.4	13.7	15.1
糖尿病	0.9	1.6	1.9	1.9
腎不全	3.4	4.1	3.8	4.0
自殺	1.7	2.2	2.6	2.3

【国保データベース（KDB）システム-地域の全体像の把握】

図4：全死亡数に占める割合（％）の推移



【国保データベース（KDB）システム-地域の全体像の把握】

悪性新生物（がん）の部位別死亡者数をみると、「肺がん」が平成30年以降1位で推移しており、平成30年から令和4年までの5年間の総数は118人で悪性新生物死亡者数の21.1%を占めています。次に「大腸がん」「すい臓がん」「胃がん」「肝臓がん」の順に多くなっています。

県全体も同様に、「肺がん」「大腸がん」「すい臓がん」の順に多くなっています。

表5：悪性新生物（がん）部位別死亡者数

（単位：人）

5年間の総数での順位	がんの部位	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		合計	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1位	肺	13	11	13	12	17	4	17	9	16	6	76	42
		24		25		21		26		22		118(21.1%)	
2位	大腸	5	7	5	4	10	3	12	8	8	4	40	26
		12		9		13		20		12		66(11.8%)	
3位	すい臓	7	6	4	5	4	6	8	4	13	5	36	26
		13		9		10		12		18		62(11.1%)	
4位	胃	8	4	7	7	4	10	9	2	7	2	35	25
		12		14		14		11		9		60(10.1%)	
5位	肝臓	6	4	5	2	4	4	4	3	7	2	26	15
		10		7		8		7		9		41(7.3%)	
悪性新生物（がん）死亡総数		118		107		103		114		118		560	

【熊本県衛生統計年報-第16表死亡数、性・死因（死因分類）・保健所・市町村別】

(5) 介護の状況

宇土市の介護保険による要介護認定率は、1号被保険者（65歳以上）と2号被保険者（40～64歳）ともに県や国、同規模平均と比べ同等か低い状況です。令和5年度の認定者の有病状況を見ると、心疾患が64.9%と最も多く、次いで筋・骨格が58.8%、精神疾患が42.7%の順に多くなっており、筋・骨格と精神疾患は県や国、同規模平均に比べ割合が高くなっています。

表6：介護の状況

(単位：項目欄に表示)

		R1年度		R5年度		
		宇土市	宇土市	熊本県	国	同規模
高齢化率 (%)		27.8	30.4	31.6	28.7	36.1
1件あたりの給付費 (円)		66,866	64,476	62,806	59,499	70,681
1号認定者 (認定率%)		17.1	17.7	20.2	19.7	19.0
2号認定者 (認定率%)		0.3	0.3	0.3	0.4	0.4
認定者 有病 状況 (%)	糖尿病	20.8	21.9	23.5	24.7	24.3
	高血圧症	57.4	55.3	59.1	53.9	55.1
	脂質異常症	30.5	32.6	33.8	33.4	32.0
	心疾患	67.6	64.9	66.2	60.8	62.1
	脳疾患	27.1	21.9	22.5	22.1	23.2
	がん	11.0	11.5	12.3	12.1	11.7
	筋・骨格	60.9	58.8	59.6	54.0	54.8
	精神疾患	46.6	42.7	40.7	36.8	38.2
	(再掲)認知症	31.3	28.6	26.9	23.9	25.5
介護認定別医療費(円) (40歳以上)	認定あり	10,076	9,981	9,695	8,786	9,292
	認定なし	4,194	4,462	4,285	4,102	4,378

【国保データベース (KDB) システム-地域の全体像の把握】

(6) 医療の状況

令和5年度の医療費に占める疾病の割合をみると、生活習慣病が約6割を占めており、精神疾患、慢性腎臓病は県、国、同規模平均に比べ割合が高くなっています。

表7：医療費の割合（最大医療資源傷病名による、調剤報酬を含む）

(単位：%)

	宇土市		熊本県		国		同規模平均	
	R1年度	R5年度	R1年度	R5年度	R1年度	R5年度	R1年度	R5年度
がん	26.7	31.0	25.5	28.4	30.1	32.9	28.7	32.1
精神疾患	19.5	18.7	18.8	17.9	16.6	14.8	17.1	16.1
筋・骨格	15.3	14.1	16.4	16.8	15.0	16.9	16.6	16.8
慢性腎臓病(透析有)	10.2	11.4	10.7	10.6	8.4	9.3	7.6	7.6
糖尿病	10.4	9.4	10.4	10.8	10.2	10.3	10.6	10.7
高血圧症	6.3	15.5	6.6	5.6	6.6	5.4	7.0	5.7
その他	11.6		11.5	9.8	13.1	11.7	12.6	11.1

【国保データベース (KDB) システム-健診・医療・介護データからみる地域の健康課題】

令和5年度の外来と入院の受診率と費用額の割合を比較すると、入院の受診は全体のわずか3.6%ですが、費用額は全体の46.0%を占めており、外来に比べ1件あたりの費用額が高額になっていることが分かります。

また費用額の内訳をみると、入院では心疾患が県内上位に、入院外でも心疾患や高血圧が県内上位にあり、1件あたりの費用額が高いことが分かり、令和1年度と令和5年度を比較すると入院・入院外ともにほとんどの疾病で1件あたりの費用額が増加しています。特に入院の高血圧、脳血管疾患、心疾患、腎不全、悪性新生物の1件あたりの費用額が増加しており、令和1年度に比べ令和5年度の県内順位も上位になっています。生活習慣病が重症化し1件あたりの費用額が増加していることが予想されます。

表8：外来と入院の受診率・費用額割合の比較（令和5年度）

外来	受診率	96.4%
	費用	54.0%
入院	受診率	3.6%
	費用	46.0%

【国保データベース（KDB）システム-地域の全体像の把握】

表9：入院と入院外の1件あたり費用額の内訳

（単位：項目欄に表示）

疾 病	R1 年度			R5 年度			
	1 件あたり 費用額（円）	県内順位 （順位総数 47）	在院日数 （日）	1 件あたり 費用額	県内順位 （順位総数 47）	在院日数 （日）	
入院	糖尿病	599,324	13 位	17	603,841	30 位	17
	高血圧	520,898	38 位	17	665,883	13 位	17
	脂質異常症	475,907	37 位	18	588,778	30 位	17
	脳血管疾患	579,841	31 位	20	714,174	15 位	21
	心疾患	687,799	17 位	15	838,899	8 位	14
	腎不全	640,844	27 位	15	764,597	13 位	16
	精神疾患	450,642	33 位	25	496,542	27 位	25
	悪性新生物	604,996	38 位	14	751,474	12 位	14
	歯肉炎・歯周病	211,320	18 位	3	181,450	21 位	2
入院外	糖尿病	42,603	5 位		43,286	8 位	
	高血圧	33,564	4 位		35,100	5 位	
	脂質異常症	31,814	2 位		31,463	7 位	
	脳血管疾患	38,391	18 位		39,731	14 位	
	心疾患	61,313	4 位		62,722	6 位	
	腎不全	152,535	12 位		133,756	10 位	
	精神疾患	33,713	10 位		34,250	13 位	
	悪性新生物	60,241	14 位		74,477	7 位	
	歯肉炎・歯周病	12,801	15 位		13,001	26 位	

【国保データベース（KDB）システム-健診・医療・介護データからみる地域の健康課題】

(7) 平均寿命、平均自立期間の推移

宇土市における平均寿命は男女ともに伸びています。全国や熊本県も同様の傾向です。熊本県や国、同規模平均に比べ、宇土市の平均寿命は高い状況です。

表10：平均寿命の推移

(単位：歳)

	男性			女性		
	H22年	H27年	R2年	H22年	H27年	R2年
宇土市	80.8	82.1	82.0	86.9	87.9	88.7
熊本県	80.3	81.2	81.9	87.0	87.5	88.2
国	79.6	80.8	81.5	86.4	87.0	87.6
同規模平均	—	—	81.2	—	—	87.5

【国保データベース（KDB）システム-健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（市区町村別生命表）】

国保データベース（KDB）システムにおいては、「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標とした健康寿命を算出し、「平均自立期間」と呼んでいます。介護受給者台帳における「要介護 2以上」を「不健康」と定義して算出されています（平均余命からこの不健康期間を除いたものが、平均自立期間）。

宇土市における平均自立期間をみると、男女とも国や県、同規模平均と比較して高く、日常生活動作が自立している期間が長い人が多いと言えます。令和 1 年度から令和 5 年度の推移をみると、国や県、同規模平均のいずれも期間が伸びており、宇土市も女性においては同様に+0.6 歳伸びています。しかし、男性では-0.3 歳期間が短くなっています。

表 11：平均自立期間の推移

(単位：歳)

	男性		女性	
	R1年度	R5年度	R1年度	R5年度
宇土市	81.1	80.8	85.1	85.7
熊本県	80.1	80.4	84.2	84.7
国	79.6	80.0	84.0	84.3
同規模平均	79.2	79.7	84.0	84.2

【国保データベース（KDB）システム-健診・医療・介護データからみる地域の健康課題】